

水難の里に生きる

川路 36災回顧

長野県飯田市川路

長野県飯田市川路

水難の里に生きる 川路・三六災回顧

表紙写真

“36被災直後”氾濫した天竜川、川路・竜江地区を上空から見る

(建設省天竜川上流工事事務所提供)

ごあいさつ	119
発刊のことば	118
序によせる	116
序の言葉	115
発刊を祝つて	114
写真特集 九十八葉＝景・碑・報道・家他	113
回顧記録編	112
水つき学校・先生と子供あの日の声から	111
男性の手記	110
市対策本部に在つて	109
長かった一日	108
懸命な防疫活動の記録	107
新妻の嫁入り仕度も泥中へ	106
災害農地の復旧に就いて	105
渦流にさらされる「島」で	104
泥かき日記	103
あの時生まれた長女も成年式を	102
渦流にさらされる「島」で	101
泥かき日記	100
あの時生まれた長女も成年式を	99
恨み多き泰阜ダム	98
水が二階に……悲しい！	97
位牌抱き、脱出しない老母	96
思うだに身震いおぼゆ三六災	95
雨が大きい川の如くとは……	94
母子三人渦流の家に孤立	93
あの日わが家は……	92
まさか三階までは……	91
最高水位、男松の根本八十センチに……	90
あの日の三人	89
「夏季講座」の心情	88
決死の脱出（梯子渡り）	87
三六災害の思い出	86
救援活動	85
あの日私は……	84
自衛隊関係者として	83
川路駅を守つて	82
川路支所に勤務して	81
筏にて夜半に脱出	80
女性の手記	79
「のぼり竿」で母屋脱出	78
人工ダムが憎い……	77

ごあいさつ	44
ダムの撤去とどう取り組むか	43
深夜の雷鳴におののく……	42
筏といろいろ……	41
川路駅を泥水から守つて……	40
あの時川路の中学校では……	39
くらげの様に我が家浮く……	38
駅を守つて、あの日私は……	37
あゝ我が家が渦流に……	36
流れの辞書を渦流に追つて……	35
駅を守つて、あの日私は……	34
渦流の壁破つて激流が……	33
忘れられない筏での脱出……	32
校舎は砂に埋もれて……	31
後遺症はまだ残されている……	30
お勝手の壁破つて激流が……	29
忘れられない筏での脱出……	28
校舎は砂に埋もれて……	27
水を止めて！」と叫ぶ一男	26
完全復旧で元の宅地に帰りたい……	25
全てが想像を絶していた……	24
危険区域条例の撤廃を……	23
開業二十日目に渦流が……	22
悔やまれる写真・書籍の流失……	21
局舎の屋根に豚が！	20
渦流の無気味な音が……	19
忘れられない広島からの手紙……	18
温かい心と協力の尊さ……	17
思い出すあの時……	16
有難かった自衛隊……	15
大切なお雛様も泥に……	14
日赤奉仕団として……	13
身にしみた人の親切心……	12
消防団の方の背に負われて……	11
なつかしい天竜での水泳……	10
電話交換台を必死に守つて……	9
災害の思い出……	8
三六災害の思い出……	7
水害のひとつこま……	6
渦まく久米川の流れ……	5
水害のひとつこま……	4
「短歌」災害の跡……	3
忘れ難き事……	2
はしご伝いに外へ……	1
婦人会の救助活動から……	0
ズブぬれで帰った高校生の長男……	-1
位牌を持って我が家を後に……	-2

# 写真特集



水難除けを祈って、今年も……川路祇園祭り・3区の人びと

変わり果てたわが家、ふるさと  
三歳のわが子を背中に  
仮小屋で星を眺めて  
苦難を乗り越えて  
暗夜に助けを求めて  
子供を背にはじご伝いに逃げる  
幼な子をお茶箱に乗せて泳ぐ  
被災後の学校生活  
記念碑を前に  
学校の泥出しの思い出  
後の世に伝えたいこと  
忘れ難きこと  
確かな情報を  
忘れ難きこと  
泥の中に女の子の下駄が  
災害救助のお手伝いから  
横になった家  
悲しみの中でうれしかったこと  
廊下で行なった卒業式

173 172 170 169 168 167 166 165 164 162 160 158 157 156 155 153 152 150 149

あの時私は  
水害の思い出  
土蔵の屋根で救助待つ  
忘れ難きこと  
泥沼の学校

経過・資料編  
今村真直編

第一章 川路と洪水  
第一節 天竜川とその流域  
第二節 川路の洪水の歴史  
第二章 三六災害の概要  
第一節 気象の概況  
第二節 出水と被害  
第三節 受難の川路  
第三章 水防の歩み  
第一節 中世から明治期まで  
第二節 昭和期に入つて  
第三節 泰阜ダム対策問題の歩み  
編集後記

題字「川路」

元飯田市長松井卓治書

270 239 234 228 228 210 203 199 199 188 183 183 181 178 177 176 175 174

編集委員

川路公民館広報委員会(昭和五十五年度)

中島 実  
中島 武男  
関島 雅直  
清水 一博  
上沼和好  
田畠保好  
竹村秀廣  
吉沢公事  
今村真直  
(公民館主事授  
(自治協議会出向)

水難の里に生きる

川路・三六災回顧

一九八一年八月一日発行

編集者

川路 公民  
川路 婦人  
川路 老人 クラブ  
川路 水害予防組合

発行者

川路・三六災記録刊行会  
〒三九一四 飯田市川路三番地  
Tel 〇三六一七一三〇〇

印刷所 株式会社 新葉社  
定価 一、六〇〇円